

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年11月2日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690700028
法人名	社会医療法人 鹿児島愛心会
事業所名	認知症対応型生活介護 グループホームあすか
所在地	鹿児島県奄美市名瀬大字西仲勝1199番地11 (電話) 0997-55-7155
自己評価作成日	平成23年9月20日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の方々の認知症状を理解し、優しく接する、怒らない、また、同じ話を繰り返しても、うなずきや話相手になり、和やかに日常生活が送れるように心がけている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年10月8日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームのすぐ近くに、小中学校・老人福祉施設・医療福祉専門学校があるので、それぞれ体験交流や実習・夏祭り等で、地域との交流が親しくなされている。
- ・利用者毎に担当を決め、利用者や家族から苦情や意見、要望等を聴取している。また、管理者は職員の意見をよく聞き、それらを運営に反映させている。
- ・外部評価を受けての気づきで、利用者が快適に過ごせる工夫を行っている。
- ・市の担当者とは、よく連携が取れており、運営についての相談をしながら、協力関係を構築している。また、グループホーム関係の情報も配信を受けている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、理念の復唱を行い、意識付けをしている。	毎朝の申し送り時に理念を復唱し、職員全員で共有して実践につなげている。地域密着型を意識しながら、職員の話しかけも笑顔で接している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事への参加、又自施設での行事の案内を行っている。地域の方の訪問も受け入れている。	豊年祭等の地域行事に参加したり、近くの小中学校からの体験交流を受け入れている。福祉専門学校の生徒達の体験学習の受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	あすか新聞を、年3回地域へ配布し、入居者の様子や行事等を知らせている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の会議を行い、入居者の経過や様子を報告、問題点等を話し合っている。	利用者の状況や問題点を報告し、話し合いを行い、また、家族会からの提案・行政からの助言・外部評価の結果やその改善についての取組状況を報告して、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>事故報告や問題点を相談しながら協力を得ている。</p>	<p>行政の担当者とは、電話や書面でホームの取り組み状況や実情を伝え、連絡を取り合っている。また、行政からは、研修会の案内などの情報を得ている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>どういことが身体拘束に該当するのか、職員にも理解してもらい、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>夜間8時以降に玄関の施錠を行っている。利用者がホームを出て行く時は、スタッフの連携や近くの商店からも連絡を受けている。身体拘束廃止については、内部や外部の研修を受け、職員も理解している。また、ホーム内では、スタッフ間で、気づいた時点で注意を行うようにしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>利用者の身体に、あざや傷があるときには、何が原因でそうなったのか報告をしてもらい、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部での研修に参加し、理解を深めるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、重要事項・契約内容の説明を行い、疑問点には、説明をし、納得をして貰った上で、サインと判を押してもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情窓口を設け、苦情や要望のあるときは、職員会議で話し合い、運営に活かしている。</p>	<p>衣類の入れ替えの対応等で要望があり、早急に対処を行う等、運営に反映させている。意見や要望等が言える雰囲気作りを行っており、面会時に色々会話し、利用者それぞれの担当者を通して意見を聞くように図っている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の職員会議で、意見や提案があるときに検討し、反映させるようにしている。</p>	<p>職員からの意見や要望・提案は、月1回の職員会議の時に、様々な意見を出してもらい、運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務の内容や給与等の見直しを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の機会があるときは参加を促し、資格取得も勧めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との訪問交流や勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始前に、本人や家族との面談、サービス提供事業所からの情報提供をして貰い、把握をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談を行い、家族の置かれている状況・要望を聞き、安心していただけるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用の前に、本人・家族の状況把握を行い、必要なサービスを優先することにつとめている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のできる場所を見つけ、出来ないところは職員と一緒にやっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来ていただけるように、家族に促したり、年間の行事等を通して参加してもらい、家族との関わりを築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	各居室に、本人の思いでの写真や品を置いている。	利用者が住んでいた家に連れて行ったり、身内や家族との電話のやり取り等の支援を図っている。また、日中、ドライブ等を通じて馴染みの場所へ行ったり等の支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者や介護職員でレクリエーションやゲームをしたり、誕生日には一人一人、皆でお祝いをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族からの相談や依頼事には、契約終了後も、出来る限りのことは行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各入居者の担当者、ケアマネが意向の把握に努めている。	日々の支援の中で、思いや意向を把握している。困難な場合は、本人の動向から本人本位に検討し、個人用のファイルや支援日誌に利用者の意向等を記入し、朝礼とカンファレンス会議の中で確認している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の個人情報を提供してもらい、病歴、生活歴等を把握し、対応を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、個人の経過を記録し、把握を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	課題があるときは、介護担当者、介護員、ケアマネと話し合い、ケアの見直しをおこなっている。	本人や家族・介護責任者等で、話し合いを行い、ケアの計画案を立てている。それをカンファレンス会議で検討し、かかりつけ医からのアドバイスを参考にして、計画を作成している。モニタリングは、4ヶ月毎に実施し、現状に即したプランで支援している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の記録を行い、状態の変化に注意しながら実践している。又、情報は職員に伝え、実践や介護計画に生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者が入院となった場合など、家族が県外在住の場合は、施設で出来る支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の方が気楽に遊びに来たり、地域の催しもの等に参加をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご家族、本人希望の病院受診を行っている。</p>	<p>利用者それぞれの、かかりつけ医で受診を行っている。受診の付き添いは、ホームで支援を行っている。家族には、毎月の手紙の中で、受診時の状況を報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	医療連携を行っている訪問看護へ相談をしている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	各病院と連携し、連絡や情報提供をしてもらっている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	契約時に、重度化や終末期に備え、医療行為が必要な場合は、施設ではできないことを説明し納得してもらっている。	重度化や終末期の取り扱いについて、過去の経験を踏まえて、契約時の段階で、医療行為の時期になったら、ホームでの対応はできない旨を説明して、同意を得ている。また、その後のフォローアップも確立している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	防災訓練時に、1回は心肺蘇生や初期対応の訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域にも災害時の協力を得られるようにしている。非難場所も決めている。</p>	<p>災害時には、近くに住んでいる職員がすぐに駆け付けられるようになっている。また、地域住民からの協力を得られる体制を図っている。夜間の災害を想定した避難訓練も行い、水・食料の備蓄も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者に声掛けをするときは、「さん」づけで呼んでいる。利用者の話にもきちんと耳を傾けている。	利用者に接する際の注意点として、常に利用者中心に対応し、言葉かけは、人前で行わないように指導している。また、利用者の情報を職場以外で話題にしないように注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者に、わかりやすく説明し、出来るだけ自己決定ができるように言葉かけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合わせるように努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の希望する服や、化粧品を購入したり、分からないときは、家族から嗜好品等を聞いて対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みを聞いたり、利用者が出来ることは、それぞれに手伝ってもらっている。	利用者と一緒に、食材の買物に行ったり、メニューを決めるために話し合っている。また、茶碗を洗ったり、テーブルやお盆を拭いたりして、利用者も役割をもっている。外食を年1回行い、夏場はバーベキューを家族会で楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立を記録し、栄養バランス等を把握している。又、食事や水分の摂取量のチェックし、記録をしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを行い、就寝前は義歯洗浄（ポリデント使用）をしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、声掛けを行い、トイレでの排泄を心がけている。	利用者それぞれの排泄パターンを把握しており、昼・夜間を問わず、声かけやトイレ誘導を行っている。夜間帯でも、できるだけ利用者自身が起きて、トイレでの排泄ができるように、支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食品やヨーグルト、スキムミルク等を食している。便チェック表を活用し、排便の把握、又、便秘薬で対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の日は基本的に決めてあるが、本人の意志や希望、体調等により、個々に応じて対応している。	1週間に2回は、入浴できるように、曜日を決めている。入浴拒否の利用者には、入浴日を変更したり、声かけ等を工夫して対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夏場の暑い時期は、就寝前に部屋を涼しくしている。又、寝不足の方は昼寝を促したり、夜間は、眠くなるまで介護員と一緒に過ごしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録帳に、薬の効能や注意事項を添付し、理解できるようにしている。服薬確認も行い、症状の変化等に注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんでもらったり、介護員と一緒にできる範囲の掃除をしている、又、好きな歌を流して聞いてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>地域の行事にでかけたり、日曜日で天気の良い日に、景色のよい所へドライブをしている。</p>	<p>日常的には、ホーム内の庭園を散歩したり、ドライブに行ったりしている。夏場は海水浴場の近くの公園でお茶を楽しんだり、桜の時期に花見に出かけたりしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者の希望で、自分で管理できる方にはお金を持たせている。又、買い物支援も行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族からの電話には、本人に出て貰い、本人が希望するときは電話をかけている。又、手紙は、利用者宛には読んで渡している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎朝、掃除を行い臭気や汚れがないように、保清に気を付けている。又、花や植物、飾り物等に気を配っている。</p>	<p>ホールは、明るくて広くゆったりとしており、利用者は思い思いにくつろいでいる。廊下の角に椅子を置き、外の景色を眺めたり、夏場は涼めるような場所の工夫を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファや長イスを設置し、くつろげる空間を作っている。又、食卓の自席も気の合う方を隣りにしたりしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭で使用していた衣裳タンスや、本人のお気に入りの物、写真等を飾っている。</p>	<p>各部屋には、利用者が使い慣れた馴染みの家具や家族の写真・手作りの飾り物・本人お気に入りの装飾品が、持ち込まれており、居心地よく過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下に手すりを設置し、安全に歩けるようにしている。又、各自の部屋入り口には名札を付け、自分の部屋だとわかるようにしている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
		<input type="radio"/>	4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない